

山行報告書

報告書作成

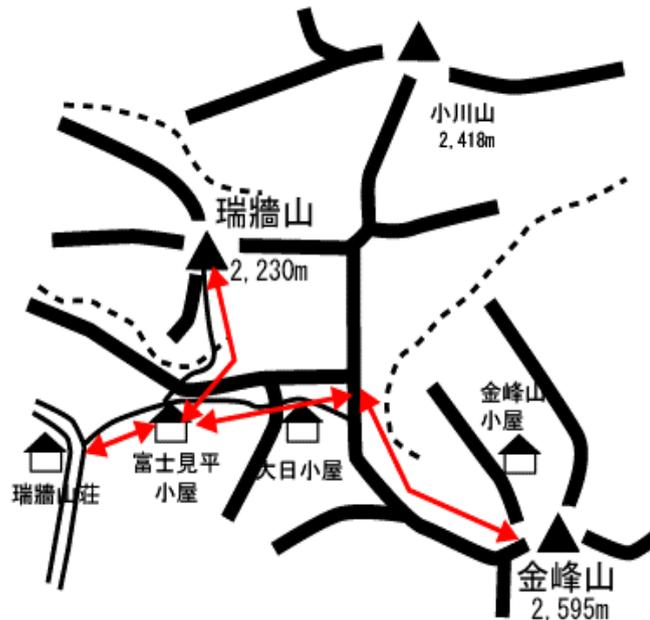
2004年2月2日

山名[山域]	瑞牆山・金峰山	目的と方法	岳展望（八ヶ岳・南アルプス）を楽しむ
登山期間	1月31日～2月1日	山行形態	ピストン
参加人数	5人		

行動記録

1/31(土) 岡崎(4:00)==稲武どんぐりの里(5:00)==飯田IC(6:00)==駒ヶ岳SA(6:15,6:35)==岡谷JCT(7:00)
 須玉IC(7:30)==瑞牆山荘P(8:20,9:00)--富士見平小屋(9:50,10:30)--瑞牆山(12:25,13:25)--
 富士見平小屋(14:50) TS1
 2/1(日) TS1(6:10)--大日小屋(7:05,7:10)--大日岩休憩P(7:40,7:45)--金峰山(10:00,10:55)--
 大日岩への分岐(12:10)--大日岩敗退(12:35)--大日小屋(12:55,13:05)--富士見平小屋(13:45,14:15)
 --瑞牆山荘P(14:45,15:05)==増富温泉(15:30,16:40)==須玉IC(17:05)==岡谷JCT(17:45)--駒ヶ岳SA
 (18:10,18:45)==飯田IC(19:15)==稲武(20:05)==岡崎(21:00)

概念図



日誌

1/31(土) 天気は快晴。出発時間が早かったが、大きな遅れもなく瑞牆山荘に到着。道中ですでに南アルプス、八ヶ岳の展望が良かったため非常に期待が膨らむ。富士見平小屋まではテント装備を歩荷しての行動だったが、距離が短いためさほど疲れなかった。小屋は無人で鍵が開いていたため使えそうだったが、冬料金の指定があり、料金入れもあったため当初の予定通り小屋を使わずテントを張ることにする。荷物をテントに置いて、いざ瑞牆山へ。雪はさほどなかったが、沢が凍っていてアイゼンの助けを借りる。瑞牆山は岩だらけの山に見えるが、登山道は樹林の中に行く。そそり立つ巨大な岩々が圧巻だ。樹林を抜けるとそこはもう頂上だった。天気は快晴で風もない、周りは南アルプス、八ヶ岳などの大展望。最高の頂上でおいしい昼食を取り最高の気分を堪能する。気分の良いまま下山。この日の夜酒はととてもおいしく感じられた。

2/1(日) 天気は快晴。幕営した樹林に囲まれた小屋が何故富士見平と言うのか。朝出かける時になんと樹林の間から富士山が見え、その理由が分かった。今日も天気良さそうなので期待しながら登る。森林限界を抜けると稜線へ出る。風はあるが、さほど寒くない。千代の吹上を眺めながら、気分良く頂上へ。360度の大展望である。ここからは富士山も北アルプスさえ望むことができる。2日連続で大成功である。おいしい昼食を取り、下山。途中、大日岩に登ろうとSLと自分2人が岩登りを開始。今思うと非常に無謀だった。岩登りの道具を何も持たず、アイゼンで頂上直下の所までは行ったが、これ以上無理だろうと引き返す。

感想

因縁の瑞牆山に登頂できて本当に良かった。天気も本当に良く、冬山とは思えぬほどだった。しかし、新たな因縁が！いつか大日岩制覇します。